各市町村組合教育委員会教育長 様
各幼稚園・小・中・高等学校長 様
人 権 教 育 関 係 者 様
会 員 各 位

日本人権教育研究学会 会長 古橋エツ子

平成24年度 日本人権教育研究学会研究大会のご案内

21世紀の人権教育フォーラム

大会テーマ

教育現場における性的マイノリティーに対する差別と人権
- 性同一性障害をめぐって -

初夏の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、このたび日本人権教育研究学会第 13 回研究大会(「21世紀の人権教育フォーラム」)を下記の要領により開催することとなりました。つきましては、会員をはじめ多数の先生方がご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

1. 期 日 平成24年8月3日(金)

2. 会 場 神戸市教育会館
〒650-0004 神戸市中央区中山手通 4 丁目 10 番 5 号

3. 主 催 日本人権教育研究学会

4. 後援予定 兵庫県教育委員会・兵庫県市町村教育委員会連合会・神戸市教育委員会・(公財)兵庫県人権啓発協会・兵庫県人権教育研究協議会

5. 大会テーマ 教育現場における性的マイノリティーに対する差別と人権
-性同一性障害をめぐって-

6. 日 程

10:00	10:30	12:35	13:30–16:30
受付	研究発表(201・202)	昼 食 理事会 402 シンポ打合せ405	基調講演・シンポジウム(501)

7. 問い合わせ先

兵庫県加東市下久米 942-1 兵庫教育大学日本人権教育研究学会事務局
E-mail hrer-clerk@river.ocn.ne.jp

8. 参加申し込み・参加費

大会参加希望の方は、7月 27 日(金)までに、入力フォームにしたがい E-mail にて送信ください(E-mail での申込が無理な場合のみ FAX にて送信下さい)。なお、参加費は 3000 円です。当日の参加も受け付けておりますが、事前申込みをお願いします。

＜E-mail 入力フォーム＞

【件名】人権フォーラム参加申込　　　【本文】お名前、ご所属、連絡先

＜FAX 入力フォーム＞

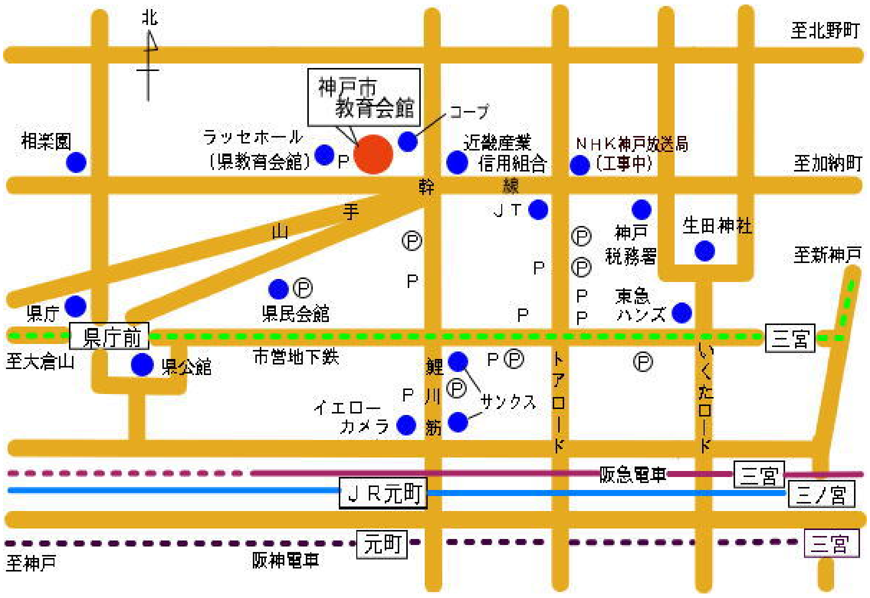
第13回日本人権教育研究学会研究大会参加申込	
お名前	
ご所属	
連絡先	〒 電話

＜申込送信先＞

岡山大学　小河達之先生　/　E-MAIL（otatsu@md.okayama-u.ac.jp）
FAX（086-235-6735）

9. 会場へのアクセス

＜会場周辺地図＞



JR・阪神「元町」駅(東口)より鯉川筋北へ徒歩10分、市営地下鉄「県庁前」駅(東1番出口)より東へ徒歩5分、新幹線ご利用の方は、新神戸駅で市営地下鉄にご乗車のうえ、「県庁前」駅下車、東1番出口より東へ徒歩5分です。

============= 大会スケジュール =========

■ 研究発表 10:30～12:35

[第1分科会] 201号室　　　司会　米田　豊(兵庫教育大学)
津田　博(川崎医療福祉大学)

10:30～10:55
（１）人権の日本的基層哲学の可能性―「義理と人情」は人権哲学となり得るか？
森田　明彦（尚絅学院大学）

10:55～11:20
（２）谷川俊太郎の作品から学ぶ生と死　-「侘びと和解」の意味と概念について -
片桐　史恵（中部学院大学）

11:20～12:45
（３）「解放の学力」論の形成過程の考察－「部落解放理論の葛藤」という視点から－
板山　勝樹（名桜大学）

12:45～12:10
（４）部落史研究の成果を組み込んだ小学校歴史学習の開発
岩本　剛（兵庫教育大学大学院）

12:10～12:35
（５）少年審判を題材にした中学校人権学習の授業開発
藤瀬　泰司（熊本大学）
中山　篤（熊本県甲佐中学校）

[第2分科会] 202号室　　　司会　小南 浩一（北陸大学）
永添 祥多（近畿大学）

10:30～10:55
（１）人権教育における中核概念「個人の尊厳」の考察
山本　克司（聖カタリナ大学）

10:55～11:20
（２）子どもの人権が生まれるとき―人権教育研究の一つの素材として―
小田桐　忍（東京未来大学）

11:20～12:45
（３）ユネスコ的人権教育の現在形～ESD と子ども地域学
岡崎　裕（プール学院大学）

12:45～12:10
（４）多文化クラスにおける人権教育の実践　-多様なバックグラウンドを生かした人権学習とは-
宮本　美能（大阪大学）

12:10～12:35
（５）保育者養成校の学生における障害児保育の専門性に関する研究
西木貴美子（湊川短期大学）

■　基調講演・シンポジウム　13:30～16:30　501号室

【テーマ】「教育現場における性的マイノリティーに対する差別と人権
－性同一性障害をめぐって－」

【趣　旨】
性的マイノリティーに対する差別と人権の問題は、言うまでもなく、他の差別・人権問題と同様、全人類的課題である。本シンポジウムでは、本学会の特質を踏まえ、我が国の学校教育の現場における性的マイノリティー ―とくに性同一性障害患者に焦点を当てる―に対する差別と人権の問題について倫理的、法的、社会的視点から討議を行う。

【シンポジウム趣旨説明】
○13：30～13：40　　コーディネーター：粟屋　剛先生（岡山大学大学院 教授）

【基調講演】
○13：40～14：00　「性同一性障害当事者を取り巻く社会的課題」
中塚　幹也先生（岡山大学大学院 教授）

【シンポジスト報告】
○14：00～14：15　「性同一性障害の概説と手術療法」
難波祐三郎先生（岡山大学大学院 准教授）

○14：15～14：30　「性別を超えて生きる事は病気なのか」
彩森灯真先生（岡山大学ジェンダークリニック患者と家族の会）

○14：30～14：45　「性同一性障害と法」
松村比奈子先生（拓殖大学・東京理科大学ほか非常勤講師）

○14：45～15：00　「性規範への〈問い〉と相互行為の可能性」
堀江有里先生（花園大学・龍谷大学ほか非常勤講師）

○15：00～15：15　「教育と性的マイノリティー」
新井　保先生（京都市立烏丸中学校教諭）

－　休　憩　－

【ディスカッション】 15：30～16：30

＝＝